

水の木会 福祉・介護職員キャリアパス②

◆福祉・介護職員との意見交換を踏まえた資質向上のための目標(キャリアパス)

- (1)利用者のニーズに応じた良質なサービスを提供するために福祉・介護職員が技術・能力（例：支援技術、介護技術、コミュニケーション能力、協調性、問題解決能力、マネジメント能力）の向上に努めること。
- (2)事業所全体で資格等（社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、介護職員基礎研修等）の取得率向上を目指す。

◆目標実現のための具体的な取り組みの内容

(ア)資質向上のための計画に沿って、研修機会の提供又は技術指導等を実施するとともに、福祉・介護職員の能力評価を行う。

◎資質向上のための計画

| 研修テーマ | 新任 | 中堅 | リーダー サビ管 |
|------------------|----|----|-------------|
| 職場のコミュニケーション | ○ | | |
| 基本的な接遇マナー | ○ | | |
| 基本的な防災対策の理解 | ○ | ○ | ○ |
| 認知症・障害の理解 | ○ | ○ | ○ |
| 虐待防止・権利擁護、身体拘束廃止 | ○ | ○ | ○ |
| 褥瘡予防 | ○ | ○ | ○ |
| 感染症への理解 | ○ | ○ | ○ |
| ヒヤリハット事例への対応 | ○ | ○ | ○ |
| 法令遵守の理解 | | | ○ |
| サービス計画の策定 | | | ○ |

| | 内容 | 計画 | 目標 |
|------------------|---------------------------|------------------------------------|---------------------------------------|
| 支援技術・介護技術 の向上 | 支援・介護技術研修 | 全職員を対象に必要な支援・介護技術研修を年3回程度実施する | 基礎的支援・介護技術の習得 |
| | マネジメント研修 | リーダー以上を対象に、年2回程度実施する | 基礎的な人事労務管理及び人材育成スキルを習得 |
| | ケース検討会 | 毎月実施する | 問題解決能力の向上とケース情報の共有を図る |
| 資格取得の向上 | 社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士、公認心理師 | 入職後3年を経過した者を対象に、5年以内に社会福祉士等の取得を目指す | 資格保有率を毎年35パーセント以上にする、介護福祉士は毎年1名以上の合格者 |
| | 介護職員基礎研修 | 入職後3年以内に介護職員基礎研修の取得を目指す | 毎年1名以上の修了者 |

◎能力評価について

※職員ごとに、職責、経験年数等に照らして目標を立てて、その達成状況を確認するために定期的に上司との面談を行う。(別紙：職員個人面談シート)

※自己評価と上司評価(人事考課)を行う。(別紙：基本・福祉・介護評価シート)

(イ) 資格取得のための支援の実施

◎資格取得支援制度規程に沿って支援する。